

経営比較分析表（令和3年度決算）

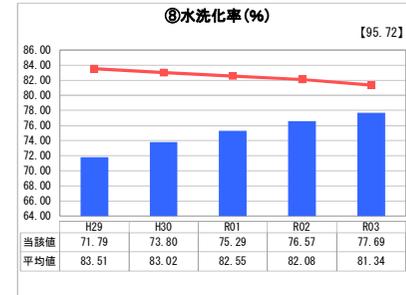
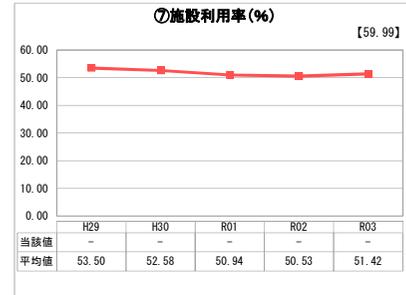
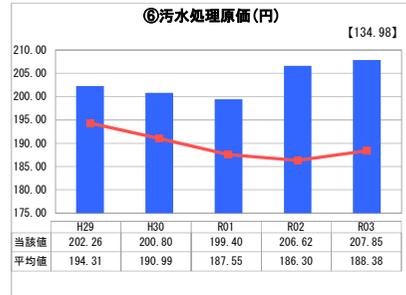
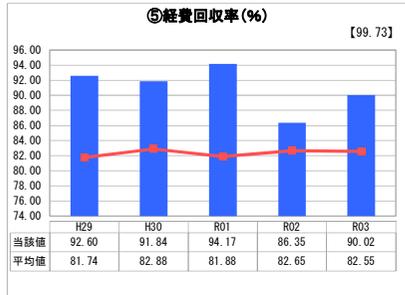
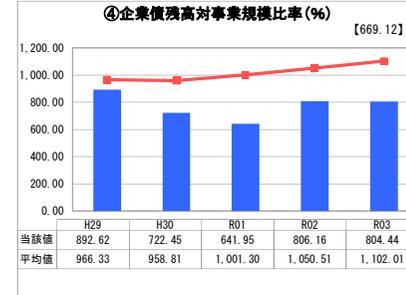
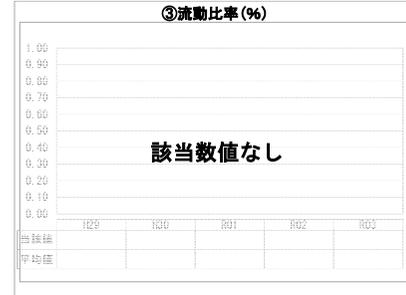
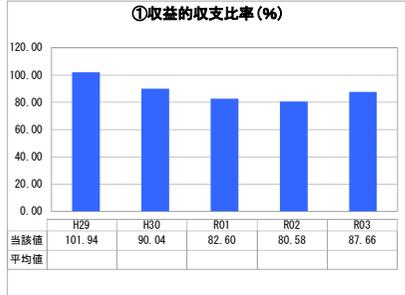
香川県 琴平町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	47.00	96.64	2,860

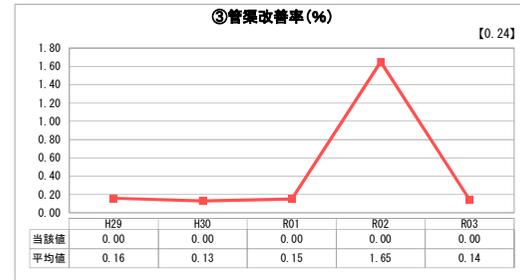
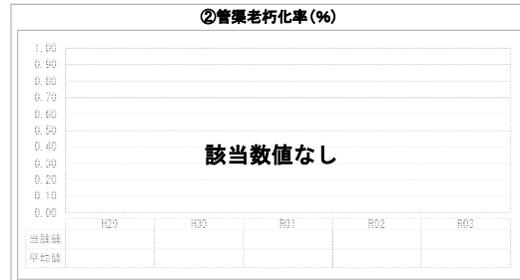
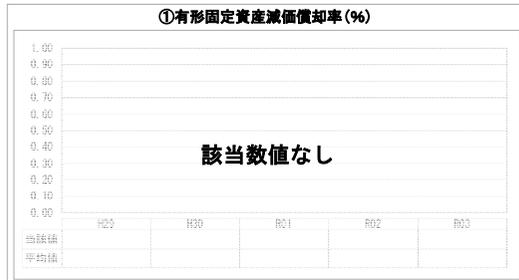
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,611	8.47	1,016.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,025	1.46	2,756.85

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率・⑤経費回収率
令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、下水道使用料が例年に比べ大幅な減収であった。令和3年度は、令和2年度と比べ、100%を下回っているが、徐々に回復してきている。

④企業債残高対事業規模比率
下水道整備事業の先行投資にかかる起債償還額及び利息の支払は、年々減少していくため、下水道使用料収入が回復すれば、比率は低下していくと思われる。

⑥汚水処理原価
汚水処理費と有収水量がともに増加したため、わずかに、原価が上がった結果となった。

⑧水洗化率
下水道接続件数が増加したため、わずかに上昇したが、類似団体平均値を下回っているため、今後も広報・ホームページ等で下水道未接続の住民に周知し、水洗化率を向上させる取り組みをしていく。

2. 老朽化の状況について

下水道管渠の整備については、昭和62年から順次整備を行い、令和3年度においては最長で35年経過している。下水道管渠の標準耐用年数は50年となっているため現時点で改築・更新作業は行わず、まず、点検及び調査を行っていく予定である。

また、令和6年度から公営企業会計に移行予定であり、固定資産台帳も整備されるため、管渠の資産価値を把握し、点検及び調査結果も考慮しながら、管渠の更新作業を効率的に行っていく予定である。

全体総括

新型コロナウイルス感染拡大の影響により下水道使用料が大幅に減収し、経営状況が悪化した。令和3年度には、下水道使用料が増収となり、徐々に現状に戻りつつある。

しかし、今後は燃料単価、電気代等の高騰による流域下水道維持管理費負担金の増額が見込まれる。経営の健全化のためには、適正な収入を得るための下水道使用料改定を継続して検討していく必要がある。

令和6年度に公営企業会計へ移行することを予定しており、移行後には、経営・資産等の状況を把握し、事業経営の健全化を図る。また、汚水処理事業の広域化・共同化については、事務の一元化や維持管理費の削減が出来るか県及び関係市町で連携し、今後も実現に向けて務めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。